

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイリスクラブ今林		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日		2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日		2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フロアが広く、光も入ってきて明るく、個室も3部屋あり、活動しやすい環境が整っていること	利用の子どもの様子や活動内容に合わせて、広いフロアを使って取り組んだり、少人数に分けて個室で取り組んだりしている。	・フロアの環境を日々見直し、危険な箇所はないか、動きにくさはないかなど、職員間でも話し合い、改善できるところを改善できるようにする。
2	職員間のコミュニケーション	・朝礼、終礼時や会議等で話し合う機会を設けている。 ・アセスメントシートを活用し、担当を決めて互いに情報収集をして、多面的な見方ができるようにしている。	・気付いたことを気軽に聞き合える雰囲気づくりを継続して行い、個人の専門性も高めながら支援内容を充実させる。
3	保護者の方とのコミュニケーション	・どの職員も送迎時や面談時などで保護者の方とお話する機会をもち、その中で聞き取ったことをもとに支援内容を改善したり、ニーズに合わせてご利用になるように検討したりしている。	・保護者の方からの連絡に職員全員が自分の意見をもちながら話し合える機会をもつことで、よりよい支援方針や支援内容を話し合い、一貫した支援の実践に繋がれるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職の職員が少ない	・専門職のスタッフが少なく、配置される人数にも限りがある。 ・社内研修で専門職からの研修はあるが、実際の支援を見て学ぶ機会がほとんどない。	・日々自己研鑽をしたり、自己研鑽したものを会議で共有したりして、より質の高い療育になるようにする。 ・社内の専門職の職員の意見を取り入れる機会を設け、日々の支援に生かせるようにしたい。 ・家族支援にも繋がれるようにしたい。
2	東住吉区、平野区、生野区などの地域の方との関わりがない	・今まで地域の方との交流する機会がなかった。	・地域ボランティアの方を探し、利用の子どもたちや保護者の方のニーズに合った方法で、交流する機会を設ける。
3	他の福祉サービスとの関わりが少ない	・徒歩圏内の学校園が少なく、他の事業所や福祉サービスとの交流も少ない。	・地域資源を確認し、地域社会の中での支援内容を考える上で、社外の他事業所との連携も密にして取り組んでいくようにする。